

# もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : [hgakuren@lime.ocn.ne.jp](mailto:hgakuren@lime.ocn.ne.jp)

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

## 本号内容

1. 写真展（9/27～10/2 NHKギャラリー）報告
2. 中国高校登山大会（10/28～30 岡山県那岐山）報告
3. 全員協議会（10/26 広島市西区民文化センター）報告
4. 登山教室（）報告
5. クライミングスクール（）報告
6. 国体（10/2～4 栃木県）報告
7. ありんこチーム活動（10/8～9 三嶺～剣山）報告
8. 岳連短信（寄贈御礼、11～12月の行事予定）

## 1. 第3回写真展報告

（事務局 西部 伸也）

昨年度はコロナ禍で中止になった第3回写真展ですが、今回2年ぶりに開催できました。以下、概略です。

開催期日 9月27日（火）～10月2日（日）

出展者・作品数 15人・37点

訪問者数 170人（1日平均28.3人、2019年の第1回は305人・2020年の第2回は181人）

アンケート提出数80、内訳は一般44・連盟会員24・

受付当番（AM：9:00～13:00 PM：13:00～17:30）

西部、福永、豊田、宮本、小方、笹田、江種

会場では、第1回・第2回と同様、特に良かった作品を3つ選んでもらい、感想・気づきがあれば書いてもらうアンケートも実施しましたが、約半数の80の方に協力頂き、感想・気づきのほうも17人が書いてくれました。特に好評だった作品ならびに感想・

気づきを紹介します。

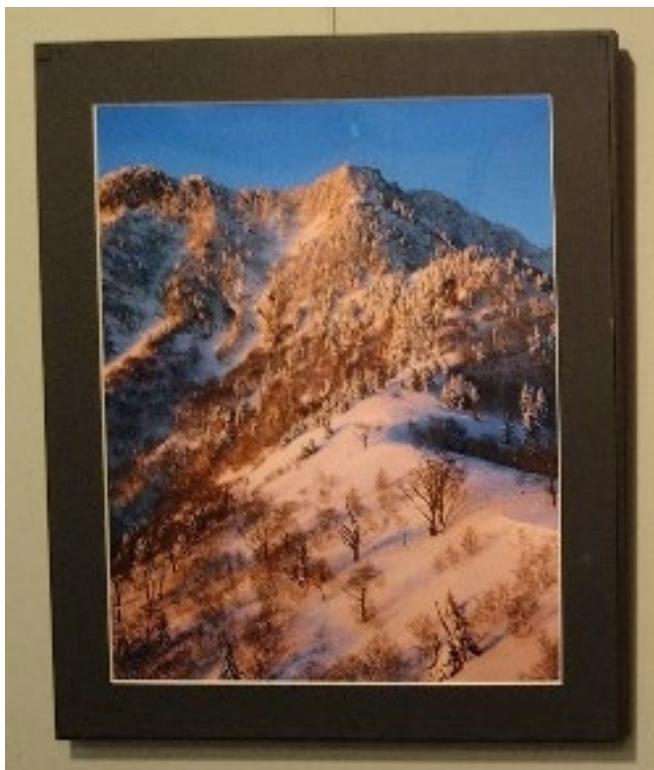
好評だった作品（票数上位3点、ただし1人1点）



ガンченボ峰と笠雲（東広島山の会・福永やす子）



取手がいなくなった冬の柿畠（広島山岳会・岡本良治）



染る神の山（竹原山岳会・植杉清三）

## 【連盟会員】

- 皆さんとてもレベルの高い作品でした。フォト俳句が面白かったです。

## 【不明】

- どれもこれも実際に観たこともないような美しい山々の風景を観せてもらいました満喫いたしました。ありがとうございます。
- たまたま通りがかつて見つけました。私もお山に登るので楽しく見させていただきました。
- 海外の山の写真、小生は行かれないが見る分はいいですね。いやされます。
- 山登りだけでも大変なのに、写真まで！エネルギーに敬意を表します。
- やはり自然はすばらしいと改めて感じました。
- 初めて写真展を拝見しました。どの写真もすばらしいものばかりで感動いたしました。ありがとうございます。

## アンケートの「感想・気づき」

## 【一般】

- フォト俳句おもしろい。写真もよいです。
- 登山者・登はん者でしか見れない景色。どの作品にも躍動感を感じます。懐かしい景色もあり、嬉しくなりました。
- 皆様元気ですね。
- 宇品港巡りの帰り、友より聞き立ち寄りました。福永やす子さん写真より息吹を感じました。霞桜のスポットやさしいです。京才昭さま、久し振りに写真展にて花たちステキです。いつの日かお目にかかりましょう！
- どの写真もすばらしく、きれいでした。きれいな風景を見ると、山に登ってみたいなと思います。
- 尾根を登る様に感銘を受けました。
- 毎年このNHKホールで続けてと思う。
- 初めて見る雲の形に驚き、感心しました。
- ⑧写真、ボランティアで参加した時の事を思い出しました。写真がとてもきれいでした。
- どれも素敵な写真でした。



会場の様子

## 2. 中国高校登山大会報告

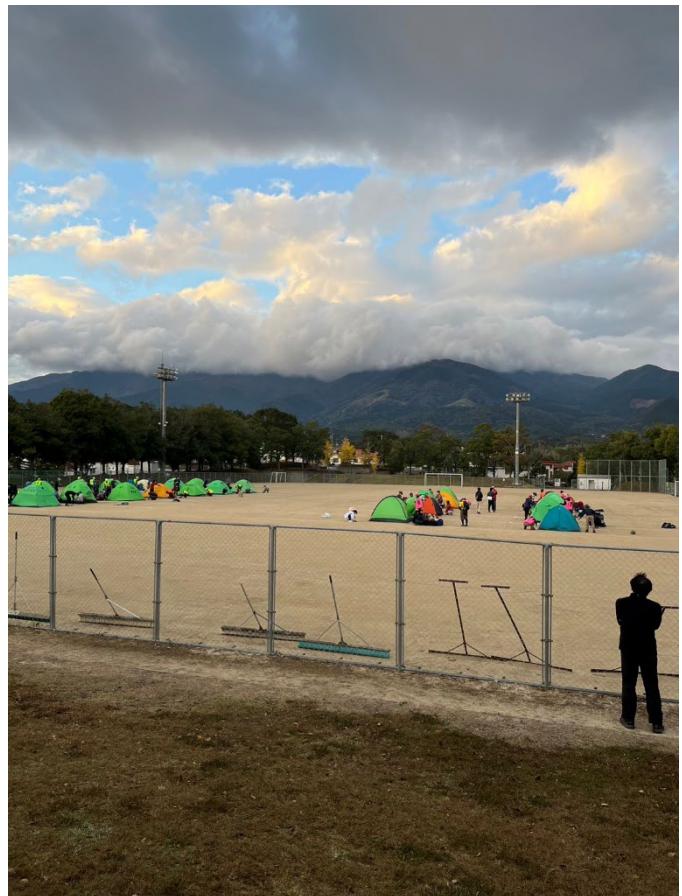
（県高体連登山部委員長 美藤 陽一）

第62回 中国高等学校登山大会は10月28日から30日の日程で岡山県那岐山一帯で開催されました。10/28に開会式が奈義町総合運動公園で行われ各県から男女最大3校、計26パーティが出場しました。今年度もコロナの影響で、炊事審査はなく、テント泊も2人で一つを利用することになり、交流会もないなど制約の多い大会となりました。広島県からは男子が修道、広島学院、基町高校、女子がND清心、五日市、県立広島高校が出場しました。

一日目は、開会式、隊編成のあとペーパーテスト、天気図作成が行われ、設営審査も行われました。この日は日中は暑いくらいでしたが夕方から風が強く吹き、気温が低下、あまりテント泊をしたことない学校が多く、苦労したようです。

二日目の登山行動は5時起床で那岐山麓の山の駅より8時から登山行動が始まりました。この日も朝から風が強く、気温も低く山頂はかなり厳しい天候になっていました。ある学校は低体温症になり登山行動ができなくなりました。その中で広島県の学校は皆、元気に登っていました。

三日目に成績が発表され、見事に修道高校が優勝、広島学院が2位となりました。他の学校も健闘しよく頑張りました。修道と学院は実は同点（99.3点）でしたが規定のルールで修道が優勝となりました。インターハイの広島学院の優勝に続き、広島県勢のレベルの高さを示すことができました。



読図ポイントを確認中の選手たち

### 3. 全員協議会報告

(事務局 杉本・西部)

日時 10月26日(水)19:00～20:30

場所 広島市西区区民文化センター

参加者 20名

会議内容

## 1 会長あいさつ

- ・10/14～野外でのマスク不要となりました。
- ・JMSCAからのアンケートの回覧をします。

## 2 (一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟の未来を考える

- ・二枚つづりの資料（問題と課題＆新規検討課題）について岡谷顧問から説明

(出席者の意見ならびに各会等の現状)

- ・スポーツクライミングの運営（財政）が苦しい。  
➡別途検討したい。
- ・登山とスポーツクライミングの両立が難しい。
- ・教員の働き方改革で登山を経験していない先生がほとんどである。
- ・指導員はいない。山好きの集まりである。山小屋の維持が苦しい。
- ・登山教室経由で山登りに目覚めた。個人会員で山登りをしている。
- ・職域団体なので新陳代謝が進んでいる。
- ・岳連/会として何かメリットがないと残念である。
- ・個人で必死に頑張っている人もいる。
- ・会員が高齢者となり会の運営が難しい。
- ・登山教室に参加している人もいる。
- ・若い人は無茶をしている。
- ・脱退した会の人で、まだ山に行きたい人がいる。
- ・我が会も五年後は高齢者団体になる。
- ・アルパイン、雪山、SC希望で入ってくる人もいるし、ツアーに参加するより安いということで入ってくる人もいる。
- ・岳連をやめるかどうかという話が必ず出てくるが、安全登山のため広島県山岳連盟に入っている。
- ・簡単な登山については行きたい。

- ・個人会員と会の人とで登山活動してもOKか。
- ・みんなと休日が合わない為、個人会員なった。
- ・今は個人会員のメリットがなくなっているが、個人会員のアピールが必要。個人会員の募集を店に掲示させてもらっている。
- ・会の山行に都合が合わないので個人会員なった。
- ・全日大会が魅力。
- ・各会から「ありんこ」に加わり、各会へ引き抜いてもらったらいい。
- ・高校の生徒の中にはテントの建て方を知らないのがほとんどになった。
- ・連盟会員が「ありんこ」の活動に参加するに際して、個人会員にもならなければならないかどうかについて、出席者の間で意見の相違があった。（A：個人会員になってもらう必要がある。B：個人会員になる必要はない。）

## 3 報告

- (1)比婆山国際スカイランの実施予定
- (2)10/02-04(日-火)栃木国体の結果
- (3)創立80周年事業記念誌¥1500-/一冊の案内
- (4)写真展の結果報告➡もみじに掲載する。
- (5)県民ハイキング（2022年は実施せず、2023年は6月から実施したい。）
- (6)その他(田中剛さんご遺族支援他)



## 4. 登山教室報告

(指導部長 森本 覚)

第7回 10/21(金)～23(日)

登山形態：テント泊縦走

山域：剣山・三嶺

人数：8名（スタッフ含）

見ノ越～剣山～白髪小屋（テント泊）～三嶺～名頃まで縦走しました。（森本）

（感想文）『四国・剣山から三嶺山行に参加して』

（登山教室2年 尾原 陽子）

ちょうど紅葉が鮮やかな時期に、剣山から三嶺に1泊2日のテント泊縦走でした。

天気は曇り時々晴れ、暑くも寒くもなく心地よく、登山にうってつけの日でしたが、1900m級の剣山、二郎峠の山頂は飛ばされそうなくらいの強い風が吹いていました。高さ西日本第2位の剣山では、これくらいの風は普通だそうです。登山口から剣山の標高差540mは2時間余りで歩けましたが、ここから白髪小屋テント場まで延々稜線を7時間、アップダウンを繰り返し無心になって歩きました。稜線は笹原が広がり、初めて目にする360度の絶景が、体の疲労を紛らしてくれました。テント場に15時30分と明るいうちに着け水組み隊とテント設営隊に別れ、17時には鍋を囲んで夕食を食べ、18時には寝る態勢に入りました。翌朝は2時半起床、4時三嶺に向かって出発です。頭も体も半分眠りから覚めてないのでなかなか足が前に進んでくれませんでした。夜露に濡れた登山道は滑りやすく慎重な歩きが求められました。夜が白けだすころ、朝霧がかかり、日の出が全く見えず霧の中で残念な思いをしました。三嶺からの下山道は私の苦手なザレ場や段差の大きい坂道、足のグリップが効かず苦労しました。

話を山行前に戻します。9月の早月尾根・剣岳山行は、初めてのアルプス登山、岩稜尾根の景色に興奮しましたが、往復とも途中で脚力が落ちてザックの荷物を皆さんに分担してもらいました。帰宅後、体力的・精神的にダメージを受け、立ち直るのに時間がかかりました。10月に入り、四国剣山では自立した登山をしたいと思い、白木山に5回登りました。3回

目からはザック15キロ歩荷しました。また森本CL、久保田SLのアドバイスを受けて筋トレ、ザックの小型化と軽量化に取り組みました。自立した登山に向けての努力が剣山三嶺縦走を一層感慨深くしました。スタッフはじめ登山教室の皆様が私を暖かく見守って下さり、私のペースに合わせてくださったこと、とても感謝します。有難うございました。

（写真提供 久保田 征治）



## 5. クライミングスクール報告

(指導部長 森本 覚)

第6回 10/2(日)

山域：三倉岳 7合目周辺

人数：18名（スタッフ含）

一升餅 ひなまつり 七五三 雨のあとをトップロープ、池本クラックをガイドモードでセカンドビレイ、門前払いをムンターヒッチでセカンドビレイを行いました。（指導部 塩田 徹）

（感想文）

『第六回クライミングスクール』

（受講生 松浦 直幸）

6回目を迎えたスクールです、今回の課題はセカンドビレイにおける支点確保とディバスの使用方法でした。

いつも通り8時30集合、ルーティン終了後7合目池本クラック(5.8)、門前払い(5.7)を目指します。

当日は天候も良くクライミングの最中は快適に過ごせた気温でしたが、さすがに登り下りの道中はまだ暑かったです。

当日参加者(12名)が3つの班に分かれてそれぞれ課題に挑戦していきます。

門前払いでのセカンドビレイは環付きカラビナ+ムンターヒッチ、池本クラックではレベルソのビレイモードにて行い、それらを使い分けるシチュエーションや各機器のメリット、デメリットなどを詳しく教えて頂きました。

話は少し外れますが、私はこのスクールに入るまでジムも含めてクライミング未経験。今回で6回目の体験です。また、スクール生の中には私のような未経験の方が複数人いらっしゃる様にみえました（違っていたらすみません）。たとえ5.8でも全員支点まで登れた事がスクールでの成長なのかな？と思いました。

「TRで登れたとは言わない！」と大変優しい女性講師に言われそうですが（笑）

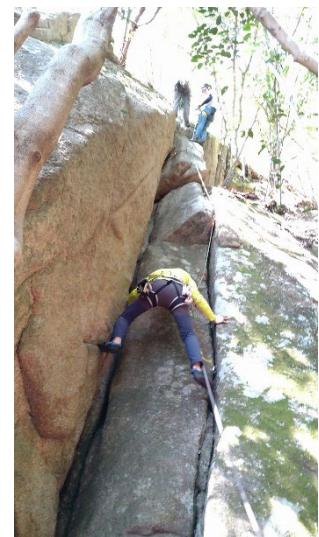
本題へ戻りますがセカンドビレイの感想として、色々と教えて貰いながらというのもありますがザイルのさばき方、支点構築など経験を積まないとなかなかスムーズに行かないと痛感しました。

また、初めてセカンドビレイをしましたが、予想よりザイルが重く、屈折してたり長いザイルだともっと大変だろうとも思いました。

また、課題の流れとして3人が支点へ着いた後ラペリングにて1人が降りるという行程ですが、狭い支点にてセルフを取り、少ない支点にカラビナが何枚もあり、さらにザイルが4本入り乱れ、講師の方が居なかつたらパニックになっていたと思いました。

講習も残すところあと2回、最後はマルチっぽい話もチラホラ出ていますので、自分ひとりだけ敗退という不安もありますが、楽しみにしています！

（写真提供 塩田）



## 6. 国体報告

期日：10/2～4

開催地：栃木県壬生町

広島県選手成績：

成年男子（選手：千原悠・延近陸空斗）

リード予選 32位、ボルダリング予選 24位

少年男子（選手：大下賢実・香川葉津）

リード予選 11位、ボルダリング予選 10位

惜しくも決勝進出ならず！

降ってきましたが、雨具を着込むほどの状況ではなかったため、黙々と前進を続けました。13時半頃、丸石を過ぎ、スーパー林道分岐に差し掛かる頃、雨が若干強くなってきたため、Oさんの号令で雨具を着込みました。雨具を着始めた途端、強風と共に強い雨が叩きつけてきました。これから先は剣山に向けて、標高差約350mの登りが続きましたが、霧の中で視界が効かないいうえ、風雨が叩きつける中での登りは大変長く感じられました。途中、分岐で2名が西島駅へ向かい、残りの7名で山頂を目指しました。16時前に剣山山頂に到達しましたが、相変わらずの雨と霧で眺望は全く望めず、集合写真を撮って早々に下山に取りかかりました。下りは西島駅の営業終了時刻（16時45分）7分前に何とか間に合うことができ、リフトを利用して9名全員、無事に下山することができました。

今回は寝食に必要な装備を担いでの山行となり、私にとっては初めての経験でした。具体的に学んだことを列挙すればきりがないほどで、大変充実した2日間を過ごすことができました。特に、荷物が多く重量があるときのパッキングと歩くときの体重移動が重要であることを教えて頂き、2日間の縦走の中で実践することができました。ご指導を頂いたOさんはじめ、今回の山行計画立案者のKさん、他の参加の皆様に感謝すると共に、今後もありんこチームの山行を通じて色々な経験を重ねていきたいと考えています。

### 【コースタイム】

#### 1日目

見ノ越駐車場 11:00 (バス利用) 名頃バス停 11:30  
三嶺登山口 11:55 ダケモミの丘 13:55 三嶺水場  
15:03/15:30 三嶺ヒュッテ 15:50

#### 2日目

三嶺ヒュッテ 5:30 三嶺 5:45 カヤハグ（東熊山）  
7:20 白髪山分岐 8:17 白髪避難小屋 8:28 平和丸  
9:03 中東山分岐 10:45 高ノ瀬 11:14 奥祖谷二重  
かずら橋分岐 12:24 丸石 13:02 スーパー林道分岐  
13:26/13:39 ジロウキュウウ峠 15:02 西島駅分岐  
15:20 剣山 15:52/15:55 剣山頂上ヒュッテ 16:02  
大劍神社 16:18 西島駅 16:37 (リフト利用) 見ノ  
越駐車場 16:52

## 7. ありんこチーム活動報告

（顧問・個人会員 岡谷 良信）

参加者の感想文ならびに写真です。

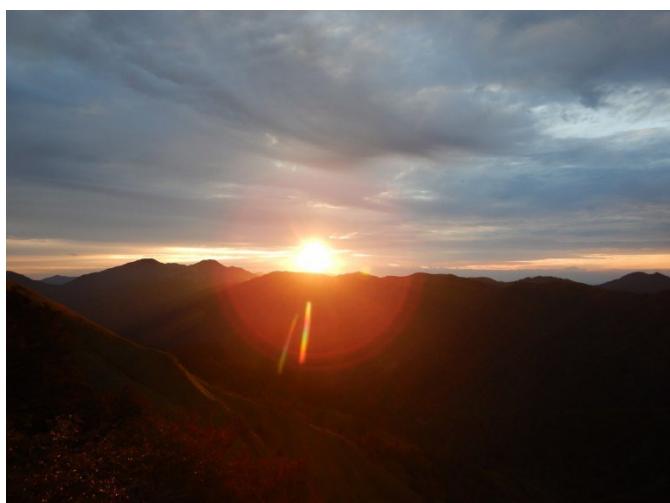
### 『10月（三嶺～剣山縦走）報告』

（個人会員 岩本 有司）

10月8日（土）11時、参加者9名で剣山見ノ越駐車場からバスに乗り込み、名頃登山口に向かいました。天気は翌日9日の12時頃まで曇り、その後は小雨の予報。三嶺からの雄大な稜線を期待して登山を開始しました。1日目は樹林帯を中心の標高差約1,000mの登りでした。ダケモミの丘を過ぎ、笛原の眺望が見えてきた頃から、どこからか流れてきた雲によって、あっという間に一面が霧に覆われました。目的地の三嶺ヒュッテに着く頃には更に霧が深くなり、期待していた稜線の眺望は翌日に持ち越しとなってしまいました。

翌日9日は5時30分に三嶺ヒュッテを出発しました。空がうっすら明るくなった頃、5時45分に三嶺山頂に到着。午後から天候の悪化が予想されていたため、集合写真を撮影して、早々に剣山への縦走を開始しました。6時を過ぎた頃、雲の間から朝日が顔を出しました。太陽はたった数分で雲に隠され、この日は二度と姿を見せませんでしたが、やまなみから昇る朝日と赤く染まる稜線が大変美しく、今回の山行で最も印象的な瞬間となりました。

白髪避難小屋を過ぎ、9時頃に平和丸に到着した頃から風が強くなっていました。10時頃になると霧が稜線を覆い被さるように流れてきて、視界が閉ざされました。11時過ぎには霧に混じって小雨が時々横殴りに



## 8. 岳連短信

### 1. 寄贈御礼

10/20 福山山岳会『会報』11月号

10/20 三原山の会『筆影』No. 512 (11月号)

広島山岳会『山嶺』第887号 (10月)

広島やまびこ会『やまびこ』794

10/26 『中信高校山岳部かわらばん』713

### 2. 11～12月の行事予定

11/12 県東部合同登山

11/18～20 西部地区安全登山指導者研修会（島根県）

12/24～25 全国高校選抜S C選手権（埼玉県加須市）



### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽に寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。隨時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。

